

2 0 1 8（平成30）年度
事業報告書

自 2018（平成30）年4月 1日
至 2019（平成31）年3月31日

一般社団法人日本音楽制作者連盟

【目次】

≪ 2018（平成30）年度の事業内容 ≫

1. 著作隣接権等の権利の擁護の推進及び研究

- (1) 芸団協・実演家著作隣接権センター（CPRA）の運営…………… P. 2
- (2) 映像コンテンツ権利処理機構（aRma）の運営…………… P. 2
- (3) 音制連における著作隣接権委員会…………… P. 3
- (4) 著作隣接権に係る権利行使の受任及び報酬等の分配…………… P. 3
- (5) 著作隣接権管理業務の効率化と精度の向上を目指した研究…………… P. 3
- (6) 未登録者への対応…………… P. 3
- (7) 著作隣接権に係る報酬等の分配…………… P. 4
- (8) 各種書類のデジタル化推進…………… P. 4

2. 音楽制作事業に関する調査、研究及び事業支援

- (1) ビジネスモデル研究…………… P. 4
- (2) FMP 総合研究所…………… P. 6
- (3) 海外視察…………… P. 7
- (4) ライブ・エンタテインメント白書…………… P. 7
- (5) コンサートツアー中止保険…………… P. 7

3. 会員相互交流の促進及び情報発信

- (1) 組織活性…………… P. 7
- (2) 広報活動…………… P. 8
- (3) セミナー、研修会の開催…………… P. 8

4. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- (1) 公益目的支出計画…………… P. 11
- (2) 社会貢献の実現…………… P. 12
- (3) 「記憶の記録 LIBRARY」プロジェクト…………… P. 12
- (4) 後援助成…………… P. 12
- (5) 関係団体との協力…………… P. 14
- (6) 協議会等への参加…………… P. 15
- (7) 講師派遣…………… P. 15

2018（平成30）年度 事業報告書

≪ 2018（平成30）年度の事業内容 ≫

1. 著作権隣接権等の権利の擁護の推進及び研究

(1) 芸団協・実演家著作権隣接権センター（CPRA）の運営

日本音楽事業者協会（音事協）並びに演奏家権利処理合同機構 MPN（MPN）、映像実演権利者合同機構（PRE）と協力し、CPRA 運営を行った。具体的には、権利行使を委任した4団体（音制連、音事協、MPN、PRE）の代表者により構成される「権利者団体会議」及び上記4団体から選任された13名の運営委員によって構成される「運営委員会」に参加し、文化庁長官指定団体業務、著作権等管理事業法による管理事業、指定管理団体（sarah）からの委託による分配業務など、主に下記①～③の権利処理業務について、正確かつ迅速な権利者分配が実施出来るよう、実効的活動及び研究を行った。

①文化庁長官指定団体業務

- ・ 商業用レコード二次使用料請求権に関する事項
- ・ 貸与報酬請求権（貸レコード使用料・報酬）に関する事項

②著作権等管理事業法による管理事業業務

- ・ 商業用レコード放送用録音に関する事項
- ・ 商業用レコードの送信可能化権に関する事項

③委託による分配業務

- ・ 私的録音補償金に関する事項

(2) 映像コンテンツ権利処理機構（aRma）の運営

音事協並びに PRE、MPN、日本芸能実演家団体協議会（芸団協）と協力し、aRma の運営を行った。具体的には、社員5団体（音制連、音事協、PRE、MPN、芸団協）から選任された11名の理事によって構成される「理事会」に参加し、著作権等管理事業法による管理事業、利用者との契約に基づく徴収業務など、主に下記①～②の権利処理業務について、正確かつ迅速な権利者分配が実施できるよう、実効的な活動及び研究を行った。

①著作権等管理事業法による管理事業業務

- ・ 放送番組二次利用に関する事項

②利用者との契約に基づく徴収業務

- ・ 有線放送報酬に関する事項
- ・ IP マルチキャスト送信補償金に関する事項

(3) 音制連における著作隣接権委員会

前号(1)のCPRA運営及び前号(2)のaRma運営に対し、音楽制作者の意見をより反映させることを目的として、各権利に関する調査研究、CPRA及びaRmaへの提言を行った。特に、新たな権利の獲得等の権利拡大を目指し、「公衆への伝達」に関する権利の在り方の見直しについて、CPRAにおける専門部会を中心に関係諸団体と連携し与野党議員、関係省庁への働きかけを行った。

また、徴収・分配に関する法務処理や課題の解決に努め、会員社への適切な分配を目指し、有識者を交え情報収集と研究を実施した。

(4) 著作隣接権に係る権利行使の受任及び報酬等の分配

CPRA及びaRmaが徴収・分配を行う以下の使用料等に係る権利について、会員社及び権利を委任する音楽制作者より、権利行使に関する委任を受けてCPRA及びaRmaに復委任を行い、その権利報酬等について正確かつ迅速な権利者分配を実施した。

- ・ 商業用レコードの二次使用料
- ・ 録音権使用料
- ・ 貸レコード使用料
- ・ 私的録音補償金
- ・ 有線放送報酬
- ・ 放送番組二次利用の使用料 ほか

(5) 著作隣接権管理業務の効率化と精度の向上を目指した研究

CPRA隣接権使用料分配精度の一層の向上を目的として、CPRAに対しデータ収集の効率化とそれに関連した分配ルールの再構築にむけた提言を行った。また、CPRAで改修が進められているシステム「MAPS」(分配実績管理機能)に連動すべく、音制連で運用しているシステムの機能を拡張し、会員社からの依頼内容に応じて迅速かつきめ細やかな対応ができる体制を構築した。

(6) 未登録者への対応

実演家の権利行使に関する委任のない音楽プロダクションやアーティスト等の音楽制作者に対し著作隣接権の啓発を行い、新規28社(正会員、権利委任個人・法人)の権利行使の委任を受け、計32アーティストが新たに登録された。具体策としては、日本ダンスミュージック連盟(FDJ)等の関係団体との協力体制を強化することで、未登録者の登録率を高めた。

(7) 著作隣接権に係る報酬等の分配

<<2018（平成30）年度・会員への分配額（手数料控除後）>>

	2017年度実績	2018年度実績	前年比	備考
①貸レコード使用料	¥594,289,202	¥505,552,021	85.1%	2017年度徴収+判明者追加
②放送二次使用料	¥1,239,545,341	¥1,276,888,468	103.0%	2017年度徴収+判明者追加
③録音権	¥490,420,305	¥486,323,512	99.2%	2017年度徴収
④私的録音補償金	¥3,516,033	¥2,900,815	82.5%	2017年度徴収+判明者追加
⑤放送番組二次使用料	¥74,812,185	¥97,994,896	131.0%	2018年2月～2019年1月 +CPRA 過去許諾分
⑥有線放送報酬	¥29,660,911	¥30,878,486	104.1%	2017年度映像分、 2016年度音楽分
分配総合計	¥2,432,243,977	¥2,400,538,198	98.7%	

(8) 各種書類のデジタル化推進

現在、収集保存している各種書類について、収集データのデジタル化及び分配資料のデジタル化に向けて関係諸団体と協議を行った。

2. 音楽制作事業に関する調査、研究及び事業支援

(1) ビジネスモデル研究

国内外における音楽作品やコンサートのプロモーション展開、チケット・マーチャндаイジングの流通、各種メディアとの連携など幅広く今日のプロダクションビジネスにおける課題抽出を行い、将来を見据えたビジネスモデル研究を実施した。

①プロダクションビジネス研究委員会

プロダクションビジネス研究委員会の傘下に、下記4つのプロジェクトを置き、会員社業務に密接な各種課題について調査研究を行った。

・ライブビジネスプロジェクト

ライブビジネスに関する業務の効率化、利益の確保を主要なテーマとして、支出をおさえ収入を確保することを考察し、会場確保、チケットティング、著作権（ライブでの演奏権）等について、関係諸団体と連携を図り課題解決に取り組んだ。

特に高額チケット転売問題においては、新法「特定興行入場券の不正転売の禁止等による興行入場券の適正な流通の確保に関する法律」が成立し、その周知と新法が定める公式二次流通の整備、ユーザーからの問合せ対応等に努めるため、音事協、ACPC、コンピュータ・チケットティング協議会、デジタルチケット事業者らとともにチケット適正リ

セール推進協議会を設置し、以下の活動を行った。

i. ユーザー啓発活動

- ・専用 web サイト「転売 NO」運営協力
- ・首都圏主要ホールでのポスター掲示

ii. 公式チケットトレードリセール「チケトレ」運営への協力

iii. 新法周知等に向けた活動

- ・関係諸団体及び関連事業者による任意団体設立準備
- ・新法運用における概要解説書作成

・デジタルビジネスプロジェクト

プロダクションビジネスにとって有益な各種デジタルサービスに関する調査研究と有害なデジタルサービスに関する情報収集を行った。具体的には、サブスクリプションサービス各社の有料会員動向の把握や動画共有サイトの権利報酬の取り扱い等に関するデータを取りまとめ、セミナーを通じて情報提供を行った。

・グローバルビジネスプロジェクト

会員アーティストの音楽作品が海外で広く紹介されるための環境整備を目的とし、世界インディーズレーベルの団体 Worldwide Independent Network (WIN) や権利処理機構 MERLIN 等との情報共有を推進し、インディペンデント・レーベル協議会 (ILCJ) 及び特定非営利活動法人インディペンデント・レコード協会 (IRMA) が合同で海外展開をサポートする団体「Independent Music Coalition Japan (IMCJ)」との連携を通じて、海外音楽市場に関する有益な情報を収集し、関係各社へ提供した。更に中国をメインとしたアジア圏のビジネスマーケットにフォーカスし、具体的な情報(成功・失敗事例、サンプル事例等) 収集に努め、音楽市場に関する実態の把握を遂行した。また、中国における「日本アーティストの情報発信プラットフォーム」の可能性を探求するため、現地の SNS 大手「weibo」を活用した「Music Channel-J」を通じて、効果的な楽曲の視聴及び会員アーティスト情報、公演情報の発信方法を模索した。

・2020年/ナイトタイムエコノミープロジェクト

未来の音楽ビジネスを中長期の観点で見つめ、音楽エンタテインメントにおいて「夢と希望を持てる未来をつくる」ことを目的に、課題解決の可能性を探るべく情報収集を行い、関係諸団体と連携を図り、以下の活動を行った。

- i. 首都圏でのホール不足問題『2016年問題』は、2020年東京オリンピック・パラリンピックが終了する2020年まで益々深刻な状況が見込まれ、問題解決に向け、また、五輪後会場の有益な利用方法についても関係諸団体と協力し、情報収集を

行った。

- ii. 2020年東京オリンピック・パラリンピックでの訪日が見込まれるインバウンドの拡大、「特定複合観光施設区域整備法（IR法）」の成立を受け、音楽エンタテインメントを提供するための環境を整備、また、大都市圏における夜間経済活動の動向を注視し、ライブ・エンタテインメント、ショー・パフォーマンス、各種アミューズメント等の活性化や飲食産業との連携など、いわゆるナイトタイムエコノミー活性化の可能性について調査研究を行い、観光庁「夜間の観光資源活性化に関する協議会」に委員を派遣した。
- iii. 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向かって、様々な応援イベントや関連企画が政府や組織委員会、東京都、民間企業等によって実施される。そこで、当連盟の加盟社全体で参加し、貢献できるような企画の有無について情報収集を行い、参加の可能性を探った。

②アーティスト ID 付番に関する研究

音楽関係団体が中心となり、大学研究機関、民間企業が参加し、プロダクションビジネスの多角化及び効率化を目的として、アーティストを基軸としたコード付番について調査研究を行う任意団体「ArtistComm（アーティスト commons）」実証実験連絡会に参加した。アーティストのプロフィール、リリース情報、コンサート情報、グッズ、映像、書籍など多岐にわたるアーティスト関連情報データベースを連携させるためのアーティスト ID 付番を通じて、アーティストの才能・付加価値を最大限に高め、国内外へ広く情報発信を行えるよう関係諸団体と協議を行った。特に今期は、radiko と大手チケットプレイガイド4社の協力を得て、ラジオで楽曲が放送された際に、コンサート情報の自動抽出とチケット販売サイトへの送客に関する実証実験を開始した。

(2) FMP 総合研究所

音楽制作を取り巻く環境が激変する中、音楽制作ビジネスの発展に寄与するため、音楽産業向けシンクタンクとして FMP 総合研究所を運営し、各種の調査・研究、実証実験、データ整備、普及・広報活動を行った。特に、音楽産業の将来に大きな影響をもたらさずであろう関係省庁並びに学会、情報・通信産業界等の動向の把握を目的として、勉強会や交流会を開催した。

特に「チケット高額転売対策」、「『公衆への伝達』に関する権利の在り方の見直し」、「アーティスト commons」の活動を推進するべく、文化庁、経産省、総務省、内閣府等の政府機関への働きかけを行った。

(3) 海外視察

実演家参加データの収集方法の調査・研究事業として、海外における先進的なデータ管理・収集方法に関する調査および海外の音楽市場調査を目的として、以下の会議への出席、並びに音楽コンベンションやコンテンツ関連フェスティバル等の視察を行った。

①SCAPR 総会

日 程：2018年5月12日（土）～20日（火）

会 場：フランス・パリ

②欧州著作権隣接権団体調査

日 程：2018年10月8日（月）～18日（木）

会 場：PPL（イギリス・ロンドン）、SENA（オランダ・ヒルヴァーサム）、
AIE（スペイン・マドリッド）

③MaMA 2018

日 程：2018年10月17日（水）～19日（金）

会 場：フランス・パリ

(4) ライブ・エンタテインメント白書

国内のライブ・エンタテインメント市場規模を把握するため、音事協並びに ACPC、MPA、JASRAC、日本演劇興行協会、主要プレイガイド、大手広告代理店等と協力し、「2018ライブ・エンタテインメント白書」を編集発行した。

(5) コンサートツアー中止保険

コンサート経費が高騰する中、コンサート中止による損害は、会員社個々のリスク及び負担になっていることから、低廉な費用で加入可能な音制連コンサートツアー中止保険団体保証制度を提供し、音楽制作事業を側面から支援した。

3. 会員相互交流の促進及び情報発信

(1) 組織活性

組織委員会を中心に会員規約の整備や入退会情報等の収集、管理並びに新入会員へのガイダンスを行った。

また、会員社をはじめ音楽業界全体の懇親、交流を目的とした NEW YEAR PARTY、会員相互の懇親を目的としたゴルフコンペ、映画試写会等の各種親睦会、交流会を開催した。

① NEW YEAR PARTY

開催日：2019年1月17日（木）（参加者1,624名）

会場：セルリアンタワー東急ホテル ボールルーム

② ゴルフコンペ

開催日：2018年5月18日（金）（参加者97名）

会場：姉ヶ崎カントリー倶楽部

③ 映画試写会

開催日：2018年7月11日（水）（参加者66名）

会場：映画美学校試写室

作品名：ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブ★アディオス

開催日：2018年9月18日（火）（参加者70名）

会場：映画美学校試写室

作品名：Eric Clapton: Life In 12 Bars

開催日：2019年2月22日（金）（参加者144名）

会場：スペースFS 汐留

作品名：グリーンブック

(2) 広報活動

① 広報誌等の発行

フリーペーパー「音楽主義」の編集発行等を通じて、より多くの音楽業界関係者や音楽制作者を目指す学生、すべての音楽愛好家へ向けて著作権思想の啓発活動を行った。

また、「音楽主義」の配布先以外からの購読希望者に応えるべく、webサイト「音楽主義.net」の情報更新を行った。

② 会員年鑑の発行

会員年鑑「GREEN BOOK 2019」の編集発行を行い、会員社の各種情報を収集した。

(3) セミナー、研修会の開催

音楽制作事業に関連する諸問題に対応するため、また、会員社ビジネスの後方支援を目的に以下のセミナーを開催した。

《主催》

①音制連・ACPC 合同セミナー

「経営者のための労務管理セミナー～「働き方改革」を踏まえて～」(主催:音制連、ACPC)

開催日: 2018年4月17日(火)(参加者98名)

会場: 東京国際フォーラムガラス棟会議室 G409

講師: 井上 泉((株)ジャパン・リスク・ソリューション 代表取締役社長)

②マネージャーが今日から使える IT サービスセミナー VOL. 3

開催日: 2018年6月29日(金)(参加者110名)

会場: 青学会館アイビーホール2F「ミルトス」

オーガナイザー: 山口 哲一(バグ・コーポレーション 代表取締役)

講師: 第一部「マネージャーが今日から使える IT サービスセミナー VOL. 3」

- ・前田 裕二(SHOWROOM 代表取締役社長)
- ・織本 五郎清健(ドワンゴ 事業戦略本部副本部長)
- ・林田 千義(Bandsintown Group アジア事業開発責任者)
- ・森川 亮(mysta 代表取締役社長)
- ・佐々木 舞(グーグル 音楽担当責任者)

第二部「音楽視点でのスマートスピーカー×プレイリストの可能性」+
「DropMix Music Gaming System (リミックスで楽しむカードゲーム)
の紹介」

- ・ふくりゅう(音楽コンシェルジュ)

③音制連・IMCJ 合同レセプション(主催:音制連、IMCJ)

開催日: 2018年10月23日(火)(参加者100名)

会場: eplus LIVING ROOM CAFE&DINING

ゲスト: 陸 金(CHARISMA TANUKI PRODUCTION/魅狸文化)

Jef Vreys (New Noise)

毛 修炳(北京道略管理諮詢有限公司 総経理)

横澤 優(アソジア 代表取締役)

山内 学(アミューズ アジア事業部長/アミューズ上海 董事・総経理)

④連続フォーラム「今こそ文化省！」チケット高額転売の現状と規制法案を語る

(主催:音事協、音制連、ACPC、コンピュータ・チケット協会)

共催:文化芸術推進フォーラム

協力:ライブ・エンタテインメント議員連盟、芸団協)

開催日: 2018年11月7日(水)(参加者110名)

会 場：衆議院第二議員会館 多目的会議室

司 会：伊藤 信太郎（文化芸術振興議員連盟 事務局長）

登壇者：中西 健夫（ACPC 会長）

松田 誠（日本2.5次元ミュージカル協会 代表理事）

阿部 聖彦（帝国劇場 支配人／日本演劇興行協会）

藁科 義弘（川崎フロンターレ 代表取締役社長）

平 将明（ライブ・エンタテインメント議員連盟 幹事長代理）

奥田 匡彦（ミクシィ 取締役執行役員）

⑤管理職向けハラスメント対策セミナー

開催日：2018年11月22日（木）（参加者29名）

会 場：青学会館アイビーホール3F「アロン」

講 師：坪 由美子（旬報法律事務所 弁護士）

⑥ライブ・エンタテインメントの明日を拓く会

（主催：音制連、音事協、ACPC、コンピュータ・チケット協議会）

開催日：2019年2月27日（水）（参加者130名）

会 場：恵比寿ガーデンプレイス「ザ・ガーデンルーム」

⑦音楽デジタルマーケティング最前線

開催日：2019年3月29日（木）（参加者108名）

会 場：青学会館アイビーホール2F「ミルトス」

モデレーター：山口 哲一（バグ・コーポレーション 代表取締役）

スピーカー：山内 学（アミューズ アジア事業部長／アミューズ上海 董事・総経理）

鈴木 貴歩（ParadeAll 代表取締役）

西村 謙大（CotoLab. 代表取締役）

上出 卓（IMCJ 代表理事）

《共催》

①TIMM ビジネス・セミナー（主催：PROMIC）

中国における日本アーティストのプロモーションとライブ事情！

開催日：2018年10月23日（火）（参加者187名）

会 場：渋谷エクセルホテル東急 TIMM 会場内

第一部：中国情報発信プラットフォーム「Music Channel-J -日本音楽在线-」について

プレゼンター：山内 学（アミューズ アジア事業部長／アミューズ上海

董事・総経理）

第二部：中国ライブエンターテインメント市場の現状

モデレーター：横澤 優（アソジア 代表取締役）

スピーカー：陸 金（CHARISMA TANUKI PRODUCTION／魅狸文化）

Jef Vreys（New Noise）

毛 修炳（北京道略管理諮詢有限公司 総経理）

②ライブ・エンターテインメント EXPO 協力共催セミナー

（主催：リード・エグジビション ジャパン）

ナイトタイムエコノミーの活性化に向けた多角的な戦略と

ライブ・エンターテインメントビジネス成長の可能性

開催日：2019年2月28日（木）（参加者150名）

会場：幕張メッセ ライブ・エンターテインメント EXPO 会場内

パネリスト：あきもと 司（環境副大臣 兼 内閣府副大臣

自民党時間市場創出推進（ナイトタイムエコノミー）議員連盟

事務局長）

太田 雄也（観光庁 観光地域振興部 観光資源課 課長補佐）

河野 雄一郎（森ビル 取締役常務執行役員

都市政策企画・秘書・広報担当／

「夜間の観光資源活性化に関する協議会」メンバー）

モデレーター：浅川 真次（常務理事／アーティマージュ 代表取締役社長／

「夜間の観光資源活性化に関する協議会」メンバー）

※団体名・肩書きは開催当時、敬称略

4. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

（1）公益目的支出計画

2011年2月の旧法人決算総会において確認された公益目的財産額について、新制度に則り、公益目的支出計画を立案し、以下の事業を実施した。

- ・チケット高額転売防止啓発活動
- ・音楽資料アーカイブ「記憶の記録 LIBRARY」
- ・音楽主義発行
- ・インディーズ海外展開調査業務委託費
- ・FMPJ MUSIC POWER AID 寄付金
- ・関係諸団体事業活動への後援助成

(2) 社会貢献の実現

「FMPJ MUSIC POWER AID 基金」より下記へ義援金を送金した。

- ・平成30年7月豪雨災害の被災地への義援金支援
被災府県全て（岡山県、広島県、愛媛県、他）を対象に被害状況に応じ金額を配分する
とした「平成30年7月豪雨東京都義援金」を募集する東京都に300万円を送金した。
- ・平成30年北海道胆振東部地震の被災地への義援金支援
北海道庁が募集する「北海道災害義援金募集委員会」に100万円を送金した。

(3) 「記憶の記録 LIBRARY」プロジェクト

当連盟に縁のあるポピュラー音楽並びにアーティストの足跡を記録し、次世代の音楽ファンに継承することを目的とした調査研究、キャリアアーティストの活動履歴のアーカイブ化と情報発信を推進するため、フリーペーパー「記憶の記録 LIBRARY」の編集発行およびwebサイトの情報更新を行った。

(4) 後援助成

音楽文化の振興に寄与するため、音楽芸能の普及及び社会的貢献を目的とした以下の事業に対する後援あるいは協力を行った。

①Act Against AIDS (AAA)

青少年に対するエイズ予防の啓発活動を行う AAA に運営会員として参加し、後援した。

②音楽著作権管理者養成講座

MPA が主催する「音楽著作権管理者養成講座」を後援した。

③アニメビジネス・パートナーズフォーラム

日本動画協会が開催した「アニメビジネス・パートナーズフォーラム」に名義協力した。

主 催：日本動画協会

期 間：2018年5月23日（水）～2018年12月5日（水）

④You Go EX

「デジタル×コンテンツ」の産業拠点構築を目指して活動する CiP 協議会が、その活動の成果を国内外に向けて発信することを目的に開催する総合イベントで、音楽やアニメ等7つのテーマをカンファレンス、エキシビション、ワークショップの形式で行う「You Go EX」に後援した。

主 催：CiP 協議会

開催日：2018年8月21日（火）

会 場：竹芝地区各会場

⑤MaMA 2018

日本の音楽文化並びに音楽コンテンツの PR とそれに係る企業の支援を目的とした事業展開を行う「MaMA 2018」に後援した。

主 催：MPA、日本貿易振興機構

開催日：2018年10月17日（水）～2018年10月19日（金）

会 場：フランス・パリ メイン会場及び周辺施設

⑥No Maps 2018

札幌市内中心部を会場とし、映画、音楽、インタラクティブ（IT 先端技術など）を中心に産官学が連携した国際ビジネスコンベンション「No Maps」に後援した。

主 催：No Maps 実行委員会

期 間：2018年10月10日（木）～2018年10月14日（日）

⑦Japan Content Showcase 2018 (TIMM、TIFFCOM、TIAF)

映像・音楽・アニメーションの国際見本市を集約し、コンテンツの垣根を越えたアジアを代表するコンテンツマーケットでアジア音楽産業の発展及び相互の連携を支援することを目的とした「Japan Content Showcase 2018 (TIMM、TIFFCOM、TIAF)」を後援した。

主 催：PROMIC、ユニジャパン、日本動画協会

開催日：2018年10月22日（月）～2018年10月25日（木）

会 場：渋谷エクセルホテル東急、サンシャインシティ コンベンションセンター

⑧Music Ally

Music Ally が2019年2月から開始する日本でのデジタルと音楽に関する業界ニュースをまとめたメールマガジンサービス開始に向け、今後の展開及び活動へ協力した。

⑨第11回 CD ショップ大賞

音楽を取り巻く様々な課題がある中、CD ショップの現場からもっと音楽を盛り上げていくために設立。メジャー・インディーズを問わず、過去一年間に発売された作品を対象とし、全国のCD ショップ店員の投票によって“素晴らしい作品”を選び、伝えることを目的とした『CD ショップ大賞』を後援した。

主 催：CD ショップ大賞実行委員会
開催日：2019年3月18日（月）
会 場：白金高輪 SELENE b2

※団体名は開催当時

（５）関係団体との協力

①日本音楽事業者協会（音事協）

プロダクション団体の視点から、多様化する著作隣接権の健全な概念・処理の在り方の調査、研究を協力して行った。特に、aRma の業務運営、チケット高額転売問題等のプロジェクト展開について協議を行った。

②日本音楽団体協議会（音団協）

音事協、MPA とともに日本音楽団体協議会（音団協）を運営し、実権利者団体としての立場から、将来の音楽文化普及、啓発に資する活動を行った。

③コンサートプロモーターズ協会（ACPC）

コンサート・イベント運営における諸問題の解決のため、検討会を開催し、情報共有を図った。特にチケット高額転売問題をはじめ、2016年以降に首都圏の主要なコンサート会場が改修、改築のため会場不足となる問題、著作権使用料等の権利処理の円滑化について協議を行った。

④日本音楽産業・文化振興財団（JMCE、旧 PROMIC）

JMCE が主催する東京インターナショナル・ミュージック・マーケット（TIMM）に参加協力し、海外の音楽市場動向に関する情報収集を行うとともに、国内アーティストの海外展開について側面支援を行うため、関係会議に役員を派遣した。

⑤以下の10団体に会員として加盟し、当連盟の会員にとって有益な情報収集や提案を行った。

- ・日本芸能実演家団体協議会（芸団協）
- ・著作権情報センター（CRIC）
- ・肖像パブリシティ権擁護監視機構（JAPRPO）
- ・渋谷クリエイティブタウン
- ・CiP（Contents Innovation Program）協議会
- ・Independent Music Coalition Japan（IMCJ）
- ・コンテンツ海外流通促進機構（CODA）
- ・放送コンテンツ海外展開促進機構（BEAJ）

- ・放送サービス高度化推進協会（A-PAB）
- ・映像産業振興機構（VIPO）

（6）協議会等への参加

以下の協議会等に参加し、音楽に係る著作権及び著作隣接権の保護の諸施策やデジタル化及びネットワーク化に起因する諸問題への対策、日本の音楽文化やコンテンツ産業の擁護について検討を行った。

- ・AMO 代表者会議（音事協、音制連）
- ・日本音楽団体協議会（音事協、MPA、音制連）
- ・海外フィンガープリント技術による海外放送の邦楽曲使用報告および国内放送楽曲使用報告の更なる精度向上のための実証プロジェクト連絡会
(JASRAC、RIAJ、MPA、音制連)
- ・ライブ・エンタテインメント議員連盟
- ・超党派チケット高額転売問題対策議員連盟
- ・自民党時間市場創出推進（ナイトタイムエコノミー）議員連盟
- ・夜間の観光資源活性化に関する協議会
- ・民放連「放送番組のネット配信等権利処理に関する連絡会」との協議
- ・天皇陛下御即位三十年奉祝委員会
- ・文化芸術振興議員連盟
- ・超教育協会
- ・Worldwide Independent Network (WIN)
- ・Entertainment Committee for STADIUM・ARENA (ECSA)
- ・東京スクールオブミュージック専門学校渋谷 教育課程編成委員
- ・東京スクールオブミュージック専門学校渋谷 学校関係者評価委員
- ・ライブ・エンターテインメント EXPO アドバイザリーコミッティー
- ・スペースシャワーネットワーク番組審議会
- ・MUSIC ON! TV 番組審議会
- ・MTV 番組審議会

（7）講師派遣

①音楽著作権管理者養成講座

主 催：MPA

開催日：2018年11月6日（火）

会 場：TKP ガーデンシティ渋谷 4F 「ホール4A」

講座名：プロダクション

講師：池田 正義（理事）

②東京大学 情報学環 情報技術論講義 メディアテクノロジーとエンタテインメント

主催：東京大学

会場：東京大学 本郷キャンパス内 福武ホール地下2階 ラーニングスタジオ

開催日：2018年12月4日（火）

講座名：アーティストマネジメント

講師：田島 敏（副理事長）

開催日：2018年12月11日（火）

講座名：アニソンビジネス

講師：井上 俊次（理事）

以上